



セットアップ Web UI の概要

Cisco Prime Network Registrar のローカルクラスタ web UI は、基本ユーザモードでセットアップ環境を提供します。セットアップはウィザードによく似た一連のインタビューページの形式で、ユーザの選択にのみ基づきます。

ライセンス管理は、Cisco Prime Network Registrar がインストールされるときに、リージョンクラスタから実行されます。まず、リージョンサーバをインストールしてから、リージョンサーバにすべてのライセンスをロードする必要があります。ローカルクラスタをインストールすると、リージョンを登録してライセンスを取得します。詳細については、「*Cisco Prime Network Registrar 11.0 インストールガイド*」を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [セットアップ機能 \(1 ページ\)](#)
- [セットアップ機能とナビゲーション \(2 ページ\)](#)

セットアップ機能

セットアップ ページには次の機能が用意されています。

- ユーザ パスワードの変更
- ダイナミック ホスト コンフィギュレーション：
 - ダイナミック ホスト コンフィギュレーション (DHCP) サービスのイネーブル化
 - 2つのサーバ間における DHCP フェールオーバーの設定
 - サービス クラスの設定
 - サーバ ロギング モードの選択
 - DHCP トラップの設定
- キャッシング DNS 設定：
 - キャッシング ドメイン ネーム システム (CDNS) サービスのイネーブル化
 - サーバ ロギング モードの選択
 - CDNS トラップの設定
- 権威 DNS 設定：

- 権威 DNS サービスのイネーブル化
- DNS サーバの役割の選択
- 高可用性 (HA) DNS サーバの設定
- サーバ ロギング モードの選択
- DNS トラップの設定
- ダイナミック ホストの DNS 更新
- 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップの受信側
- トリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP) サーバ

セットアップ機能とナビゲーション

セットアップ ページ:

- 基本および拡張ユーザ モードから特別なセットアップ モードに移動します。基本および拡張ユーザ モードは、セットアップ インタビューを使用して環境を設定したあとで特別な設定を行うためのモードです。これらのモード (およびサーバ概念) の詳細については、『Cisco プライムネットワーク レジストラ 11.0 管理ガイド』を参照してください。
- 機能をイネーブルにしたりディセーブルにしたりできる [このサーバを設定 (Setup this Server)] ページが含まれ、このページがイネーブルになっているすべての機能のページの出発点となります。
- ページには、順に実行できるように [戻る (Back)]、[次へ (Next)]、および [終了 (Finish)] ボタンがあります。ただし、[このサーバを設定 (Set up this Server)] ページには [戻る (Back)] ボタンはありません。また、[セットアップインタビュータスク (Setup Interview Tasks)] ページには [戻る (Back)] ボタンと [次へ (Next)] ボタンはありません。[終了 (Finish)] ボタンを使用すると、[セットアップインタビュータスク (Setup Interview Tasks)] ページに直接移動できます。



注意 ブラウザの [戻る (Back)] ボタンと [進む (Forward)] ボタンを使用してセットアッププロセスをナビゲートしないでください。ブラウザの [戻る (Back)] ボタンと [進む (Forward)] ボタンを使用すると、エラーが発生する可能性があります。

- 設定した基準に従って次のページを開く [次へ (Next)] ボタンが含まれます。たとえば、DNS サーバがイネーブルであるが、プライマリとして指定されていない場合、[高可用性 (HA) DNS サーバ (High-Availability (HA) DNS server)]、[ゾーン分散 (zone distribution)]、および [正引きゾーンと逆引きゾーンの設定 (forward and backward zone configuration)] ページは省略されます。
- ローカルのセットアップインタビューには [サービス (Services)]、[DHCP]、[CDNS]、[DNS]、[DNS 更新 (DNS Update)]、[トラップ (Traps)]、および [終了 (Finish)] タブがあるため、[このサーバを設定 (Set up this Server)] ページでイネーブルステータスであるかディセーブルステータスであるかにかかわらずこれらの機能にアクセスできます。た

だし、[このサーバを設定 (Set up this Server)] ページで機能がディセーブルになっている場合、その機能はセットアップページでディセーブルと表示されます。特定のセットアップ ページでステータスを変更できます。変更すると、[このサーバを設定 (Set up this Server)] ページのステータスがリセットされます。

- トランザクションの場合とそうでない場合があります。クラスタやキーを作成する場合などは、値を入力するとすぐにデータベースへの書き込みが行われます。データベースへの書き込みが [次へ (Next)] または [終了 (Finish)] をクリックしたときにのみ行われる場合もあります。
- [終了 (Finish)] をクリックすると、データベースの書き込みを追跡し、レポート ページでそれらを要約します。
- 最初の選択デフォルト値を提供し、変更を次回のセットアップまで保持します (次回以降のセットアップでは、前に設定された値が新しいデフォルト値になります)。

